

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
大分臨床検査技師専門学校	昭和52年4月6日	辻 浩一	〒870-8658 大分県大分市千代町3丁目3-8 (電話) 097-535-0201																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人平松学園	昭和29年3月16日	平松 恵美子	〒870-8658 大分県大分市千代町2丁目4-4 (電話) 097-535-0201																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
医療	医療専門課程	臨床検査学科	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	-																							
学科の目的	人の健康・医療に関わる臨床検査技師の活躍の場は多岐に拡がっており、それに必要な知識・技術の習得、また豊かな人間性、思考力、倫理観を育み、社会に貢献できる臨床検査技師の養成を目的とする。																										
認定年月日	平成27年2月17日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
3	昼間	3525時間	3030時間	90時間	360時間	0時間	45時間																				
生徒総定員	生徒定員	留学生数(生徒定員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
120人	106人	0人	8人	54人	62人																						
学期制度	■2学期制 前期：4月1日～9月30日 後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 100点法で60点以上を合格とし、以下の区分により評価する。																							
長期休み	■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月21日～1月10日 ■春 季：3月21日～4月10日 学校長が必要と認めた場合は休業日を変更することができる。		卒業・進級条件	履修すべき全単位を修得し、各科目の総合成績が合格点に達しているもの。																							
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 1年次より職員による積極的な個別指導や面談を行い学習意欲を向上させ、また毎日小テストを実施することで学習成果の状況把握に努めている。		課外活動	■課外活動の種類 赤十字ボランティア活動 体育祭、学園祭の実行委員会 ■サークル活動：無 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)																							
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成29年度卒業生) 医療機関(病院、検査センター等) ■就職指導内容 求人先施設の情報や志望動機などについて整理してもらい、個人や集団での面接練習とその指導について2回以上行っている。また学生同士でお互いを評価する事で客観的な自己分析に繋げてもらう。 ■卒業生数：37人 ■就職希望者数：36人 ■就職者数：33人 ■就職率：91.7% ■卒業者に占める就職者の割合：89.2% ■その他 ・進学者数：1人 (平成29年度卒業生に関する平成30年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>②</td> <td>37人</td> <td>34人</td> </tr> <tr> <td>毒物劇物取扱者試験</td> <td>③</td> <td>37名</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>有機溶剤作業主任者</td> <td>③</td> <td>36名</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>赤十字救急法救急員</td> <td>③</td> <td>37名</td> <td>37名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等</p>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	臨床検査技師	②	37人	34人	毒物劇物取扱者試験	③	37名	13名	有機溶剤作業主任者	③	36名	36名	赤十字救急法救急員	③	37名	37名
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
臨床検査技師	②	37人	34人																								
毒物劇物取扱者試験	③	37名	13名																								
有機溶剤作業主任者	③	36名	36名																								
赤十字救急法救急員	③	37名	37名																								
中途退学の現状	■中途退学者 6名 平成29年4月1日時点において、在学者120名(平成29年4月1日入学者を含む) 平成30年3月31日時点において、在学者114名(平成30年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 本人及び保護者との対話		■中退率 5%																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 平松奨学生制度：前期授業料より15万円減額(定員の1割以内) 兄弟姉妹入学金減額制度：在校生や卒業生の兄弟姉妹の方が入学する場合、入学金を半額(12万円)に減額 ■専門実践教育訓練給付：給付対象 給付実績者数1名																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	hiramatsu.ac.jp/rinken																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まれません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進路状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

医療施設で活躍している臨床検査技師を教育課程編成委員会委員に選任し、実務に則した検査技術や知識あるいは最新の医療技術などについて協議して、今後の講義内容や校内実習などの改善を図り、学生教育に反映していくことを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学生が安心して臨床実習や就職活動に臨めるようにするため、年2回の教育課程編成委員会で提案された意見を職員会議で検討の上、積極的に取り入れ、講義や実習に反映させる。またその成果、結果を学校長に報告する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年9月15日現在

名前	所属	任期	種別
佐藤 元恭	大分三愛メディカルセンター 三愛総合健診センター管理部長 日本臨床衛生検査技師会理事、大分県臨床検査技師会会長	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	①
首藤 章弘	大分赤十字病院 検査部係長	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	③
近藤 有介	大分市医師会立アルメイダ病院 臨床検査部主任	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	③
辻 浩一	大分臨床検査技師専門学校 校長	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	
尾越 典子	大分臨床検査技師専門学校 教務主任	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	
北永 裕一	大分臨床検査技師専門学校 専任教員	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、12月)

(開催日時(実績))

第7回 平成29年6月28日 18:30～19:30

第8回 平成29年12月5日 18:30～19:30

第9回 平成30年6月25日 18:30～19:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

以前より議題であった臨地実習の実施時期について検討を進め、実習開始時期を早めた。これにより、盆や天候の影響を避け継続して実習を受けることができ、さらに早めの国家試験準備が可能となった。また新しい試みとして2年生対象の夏休み期間中の3日程度で施設見学実習を実施した。早い時期から目指す職業に少しでも触れ体験させることで意識向上を高めてもらい今後のやる気に繋がるよう取り組みができた。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

臨床検査技師が活躍する病院・検査センター・研究施設を臨地実習先として選定し、実務から学ぶ臨床検査の業務や医療従事者としての倫理観の育成など、これらの目的が果たせるよう、各施設にて学生の実習・指導をお願いしている。実習施設において、臨地実習指導者を1名選任し、各検査室の実習評価の取りまとめを依頼している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

臨地実習が始まる前に実習指導者と綿密な打ち合わせを行い、生徒の学習成果の評価指標について定める。実習中に訪問して状況などの情報交換を行い、より実践的な最新の医療技術や医療知識を学び、臨床現場に求められる臨床検査技師として活躍できるための資質の向上を目指す。レポート内容や実習態度により評価をしていただき、その評価内容の状況を把握しながら、問題点があれば早急に対応を図る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨地実習	生化学検査学、血液検査学、一般基礎検査学、生理機能検査学、免疫検査学、微生物検査学、輸血検査学、病理検査学	大分県立病院、大分大学医学部附属病院、国立病院機構大分医療センター、大分赤十字病院、大分市医師会立アルメイダ病院など

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 検査技師会が開催する研修会や各専門分野の関連学会への参加、教育協議会の開催する教職員研修会への参加、医療施設との連携強化を図りより実践的な知識や技術の提供をうけることにより、医療現場で働くために必要な最新の医療情報や臨床検査の知識・技術の修得を行う。これにより教員の能力を高める事で、授業や実習に反映させるとともに、生徒の指導力の向上を目指すことを基本方針とする。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 病理細胞部門」(連携企業等: 大分県臨床検査技師会)
 期間: 平成29年6月2日(金) 対象: 臨床検査技師
 内容: 「呼吸器領域の細胞診」

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 病理細胞部門」(連携企業等: 大分県臨床検査技師会)
 期間: 平成29年6月10日(土) 対象: 臨床検査技師
 内容: 「細胞診に必要な病理組織分類」「症例検討」

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 臨床微生物部門」(連携企業等: 大分県臨床検査技師会)
 期間: 平成29年7月29日(日) 対象: 臨床検査技師
 内容: 「新しい微生物検査と感染制御活動への応用」「臨床微生物検査の最新トピックス2017」

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 病理細胞診部門」(連携企業等: 大分県臨床検査技師会・施設の提供)
 期間: 平成29年9月16日(土) 対象: 臨床検査技師
 内容: 「呼吸器ワークショップ」

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 臨床血液部門」(連携企業等: 大分県臨床検査技師会)
 期間: 平成29年10月18日(水) 対象: 臨床検査技師
 内容: 「血液細胞 読み方のポイント」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 病理細胞部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成29年12月2日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「口腔ワークショップ」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 輸血細胞治療部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成30年2月10日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「自己抗体への対処法:検査と輸血」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 臨床血液部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成30年2月11日(日) 対象:臨床検査技師
内容:「アーチファクトとピットフォール対策」「細胞形態のメカニズムを考える」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成29年度生涯教育 病理細胞部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成30年2月17日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「検診業務における尿細胞診の取り組み」「鏡検のポイント」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第14回大分県リハ支援センター・大分県地域リハ研究会合同研修会」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成29年7月9日(日) 対象:臨床検査技師、理学療法士他
内容:「わが町の地域課題解決に向けた地域リハビリテーションの在り方」「地域ぐるみで地域包括ケアを構築する」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「平成29年度 街角無料健康チェック・相談」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・大分県保険医協会)
期間:平成29年7月23日(日) 対象:臨床検査技師、医師
内容:「肺年齢測定」「骨密度測定」他

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第12回日本臨床検査学教育学会学術大会」(連携企業等:日本臨床検査学教育協議会)
期間:平成29年8月24日(木) 対象:臨床検査技師、会員校教員、会員校学生
内容:「これからの臨床検査技師教育・臨床検査学と協議会のあり方」「臨床検査の現場に還元する研究を目指して」他

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第2回竹田市 市民公開講座」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・大分県竹田市)
期間:平成29年9月3日(日) 対象:臨床検査技師、保健師
内容:「頸部血管エコー検査」「Inbody検査」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「リレーフォーライフ大分2017」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成29年11月3日(金)～4日(土) 対象:臨床検査技師、医師、看護師他
内容:「がん予防啓発事業」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「平成29年度センターまつり&げんきフェア」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・大分県保険医療団体協議会)
期間:平成29年11月12日(日) 対象:臨床検査技師、看護師、作業療法士他
内容:「笑いの現場から学ぶ ひとを喜ばせる・耀かせるコミュニケーション」「頸部血管エコー検査」「Inbody検査」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「全国検査と健康展」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・日本臨床衛生検査技師会)
期間:平成29年11月23日(木) 対象:臨床検査技師、医師
内容:「肺機能検査」「血管年齢検査」「頸部血管エコー検査」「簡易血糖検査」他

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「別府 CKD予防イベント」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・大分県別府市)
期間:平成29年12月3日(日) 対象:臨床検査技師、保健師
内容:「尿検査」「血管年齢検査」「頸部血管エコー検査」「簡易血糖検査」

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成30年度生涯教育 病理細胞診部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成30年6月16日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「ベセスダ2014について」「症例検討」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本超音波医学会第54回中国地方会学術集会」(連携企業等:日本超音波医学)
期間:平成30年9月1日(土) 対象:臨床検査技師、医師他
内容:「PD-1抗体薬に起因する肝機能障害G4症例の造影超音波画像」他

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成30年度生涯教育 病理細胞診部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成30年9月7日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「婦人科ワークショップ」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本超音波医学会第28回九州地方会学術集会」(連携企業等:日本超音波医学会)
期間:平成30年10月28日(日) 対象:臨床検査技師、医師他
内容:「画像診断と治療の融合」他

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成30年度生涯教育 病理細胞診部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成30年11月10日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「体腔液ワークショップ」

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「平成30年度生涯教育 病理細胞診部門」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・施設の提供)
期間:平成31年2月16日(土) 対象:臨床検査技師
内容:「泌尿器ワークショップ」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「平成30年度 街角無料健康チェック・相談」(連携企業等:大分県臨床検査技師会・大分県保険医協会)
期間:平成30年5月13日(日) 対象:臨床検査技師、医師
内容:「骨密度測定」「血糖測定」他

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第13回日本臨床検査学教育学会学術大会」(連携企業等:日本臨床検査学教育協議会)
期間:平成30年8月17日(金)～19日(日) 対象:臨床検査技師、会員校教員、会員校学生
内容:「Be gentleme! 北海道大学の目指す大学教育」「臨床検査技師教育内容の見直しの関する動向」他

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「平成30年度生涯教育 組織部」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成30年8月23日(木) 対象:臨床検査技師
内容:「検査技師の業務について」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「リレーフォーライフ大分2018」(連携企業等:大分県臨床検査技師会)
期間:平成30年9月8日(土)～9日(日) 対象:臨床検査技師、医師、看護師他
内容:「がん予防啓発事業」

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「第53回日臨技九州支部医学検査学会」(連携企業等:大分県臨床検査技師会、日本臨床衛生検査技師会)
期間:平成30年10月6日(土)～7日(日) 対象:臨床検査技師
内容:「協 一多職種との連携と多職種との協働一」他

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること

(1)学校関係者評価の基本方針

臨床検査技師として医療施設で活躍している卒業生を学校関係者評価委員に選任し、学校の教育活動などの評価を通じて、学校運営や教育方針の改善等に活かすことを基本方針とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	教育理念・教育目標を学生が理解しているか
	教育計画は学生の実態に即しているか
	将来の構想を持っているか
	職業教育の特色は明確か
(2)学校運営	運営方針に沿った事業が行われているか
	情報公開が適切に行われているか
	教務・財務等の組織整備が適切か
(3)教育活動	教育理念に沿った教育が行われているか
	カリキュラムは体系的に構成されているか
	シラバスは適切な内容か
	成績評価基準は明確になっているか
(4)学修成果	各教科の時間配分は適切か
	資格取得に向けた取組がなされているか
	就職率の向上に向けた取組がなされているか
(5)学生支援	退学者の低減に向けた取組がなされているか
	就職に向けた支援体制が整備されているか
	学生相談の支援体制が整備されているか
	学生の健康管理の体制は整備されているか
(6)教育環境	保護者と適切に連携しているか
	施設・設備は十分に整備されているか
	防災対策は整備されているか
(7)学生の受入れ募集	学生募集は適正に行われているか
	学納金は妥当なものとなっているか
(8)財務	中長期的に財務基盤は安定しているか
	財務について会計監査が適正に行われているか
	財務情報公開の体制はできているか
(9)法令等の遵守	個人情報保護対策がとられているか
	自己評価結果を公開しているか
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

カリキュラム変更に伴い講義内容や講義時間の変更の見直しを行った。また使用する教科書についても学生がより理解しながら学習ができるよう一部変更した。教育環境については教室のカーテンの付け替えや雨漏りの修理、窓の補修を行い環境整備に努めた。また市民を対象とした健康イベントの中で、臨床検査の世界や臨床検査技師の仕事に興味をもってもらうための企画に参加し、より広く臨床検査技師を知ってもらうよう広報活動に努めた。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年9月15日現在

名前	所属	任期	種別
首藤 章弘	大分赤十字病院 検査部係長	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	卒業生
近藤 有介	大分市医師会立アルメイダ病院 臨床検査部主任	平成30年9月1日～平成32年8月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:hiramatsu.ac.jp

公表時期:H30年9月15日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

臨床検査に関する最新の医療情報の提供をすることにより、臨床検査技師を目指す学生への教育の質を向上させることで、臨地実習に対して真摯に取り組む事ができるようにする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

(1) 学校の概要、目標及び計画

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大分臨床検査技師専門学校	昭和52年4月6日	辻 浩一	〒870-8658 大分県大分市千代町3丁目3-8 (電話) 097-535-0201
設置者名	設置認可年月日	代表者名	所在地
学校法人 平松学園	昭和29年3月16日	平松 恵美子	〒870-8658 大分県大分市千代町2丁目4-4 (電話) 097-535-0201
目的	人の健康・医療に関わる臨床検査技師の活躍の場は多岐に拡がっており、それに必要な知識・技術の習得、また豊かな人間性、思考力、倫理観を育み、社会に貢献できる臨床検査技師の養成を目的とする。		

(2) 各学科等の教育

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	臨床検査学科	平成7年1月23日 文部科学省告示第7号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3525時間	3030時間	90時間	360時間		45時間
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)				
120人		106人	0人				

(3) 教職員

専任教員数	兼任教員数	総教員数
8人	54人	62人

(4) キャリア教育・実践的職業教育

臨地実習先の施設において、学校で学んだ知識や技術が実際の臨床現場でどの様に活かされているかを学ぶ。また、医療現場で働く多くの他職種の方々や患者さんとのコミュニケーションの大切さを学び、将来、臨床検査技師として働く者としての自覚を高める。

(5) 様々な教育活動・教育環境

各学年の教室で授業を通じて、臨床検査技師についての知識や医療人としての心構えを学ぶ。それらの知識をより深く理解するために、病理検査学実習や血液検査学実習、生理機能検査学実習など校内実習を通じて確認する。また3年次に臨地実習先の施設において、学校で学んだ知識や技術が実際の臨床現場でどの様に活かされているかを学ぶ。また、医療現場で働く多くの他職種の方々や患者さんとのコミュニケーションの大切さを学び、将来、臨床検査技師として働く者としての自覚を高める。

(6) 学生の生活支援

担任制による学生指導と生活相談を行っている。無断の遅刻や欠席においては本人に連絡をして、連絡がつかないときは保護者に連絡を入れて、早期に対応できる体制を作っている。

(7) 学生納付金・修学支援

平成30年度実績

	1年	2年	3年
入学金	240,000		
授業料	550,000	550,000	550,000
実験実習費	310,000	310,000	310,000
施設費	180,000	180,000	180,000
合計	1,280,000	1,040,000	1,040,000

(8) 学校の財務

平松学園のホームページ上に掲載している。

(9) 学校評価

4: 適切 3: ほぼ適切
2: やや不適切 1: 不適切

項目	点検・評価項目	自己評価
(1) 教育理念・目標	教育理念・教育目標を学生が理解しているか	
	教育計画は学生の実態に即しているか	
	将来の構想を持っているか	
(2) 学校運営	職業教育の特色は明確か	
	運営方針に沿った事業が行われているか	
	情報公開が適切に行われているか	
(3) 教育活動	教務・財務等の組織整備が適切か	
	教育理念に沿った教育が行われているか	
	カリキュラムは体系的に構成されているか	
(4) 学修成果	シラバスは適切な内容か	
	成績評価基準は明確になっているか	
	各教科の時間配分は適切か	
(5) 学生支援	資格取得に向けた取組がなされているか	
	就職率の向上に向けた取組がなされているか	
	退学者の低減に向けた取組がなされているか	
(6) 教育環境	就職に向けた支援体制が整備されているか	
	学生相談の支援体制が整備されているか	
	学生の健康管理の体制は整備されているか	
(7) 学生の受入れ募集	保護者と適切に連携しているか	
	施設・設備は十分に整備されているか	
	防災対策は整備されているか	
(8) 財務	学生募集は適正に行われているか	
	学納金は妥当なものとなっているか	
	中長期的に財務基盤は安定しているか	
(9) 法令等の遵守	財務について会計監査が適正に行われているか	
	財務情報公開の体制はできているか	
	個人情報保護対策がとられているか	
(10) 国際連携の状況	自己評価結果を公開しているか	
(11) その他		

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: hiramatus.ac.jp

授業科目等の概要

(医療専門課程臨床検査学科) 平成30年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	自己理解や他者理解, 人間関係の理解を深めるとともに, 自分や他者のこころ, 行動を心理学的に見つめる態度や分析的な視点を身につける。	1前	30	2	○			○			○	
○			医療社会学	健康の維持・増進や病気の予防, 健康や病気に影響を及ぼす心理社会的要因の解明と診断, 予防・介入方法を学び医療心理学、医療社会学の視点、方法論を将来の医療の実践や問題解決に役立てる。	1後	30	2	○			○				○
○			統計学	医療データの分析を行うための統計手法を理解する。	1前	30	2	○	△						○
○			物理学	生活と関連している身近な物理現象について学び、専門教科に活かせる基礎力をつける。	1前	30	2	○		△	○				○
○			化学 I	検査の理論を支える分析化学、物理化学の基礎教養を習得することを目的と到達目標に定める。	1通	60	4	○			○				○
○			化学 II	臨床検査技師として必要な化学物質、特に有機化合物の構造からその化合物の性質を予測できるようにする。	1前	30	2	○			○				○
○			生物学	生物学の中で細胞学、遺伝学、生化学を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			英語	体や医療に関する知識と病院で使える役立つ英会話を身につける。	1通 2前	90	6	○	△		○				○
○			保健体育	健康の増進や体力の向上を図り、生涯を通じて運動を実践する態度や能力を身につける。	1通	45	2	△		○	○				○
○			解剖学 I	人体各部の名称、形態的特質および機能について説明ができる。顕微鏡実習を通して観察力と思考力を養う。	1通	60	2	○		△	○				○
○			解剖学 II	顕微鏡を用いて各組織を観察し講義内容と結びつけることで、各組織の固有の構造機能が理解できるようにする。	1通	75	2	○		△	○				○

○		生理学	生命活動を行う際の生体内でのプロセスを理解し、正常な生理機能と各器官の働きがいかにして恒常性を保っているかを把握する。	1通	60	2	○			○		○	
○		生化学	生体構成物質の化学構造及びそれぞれの性質を理解し、代謝経路を学習する。	1通	60	2	○	△		○			○
○		病理学	病気の原因や変化を学び、病気の本態を理解する。先天性疾患、代謝異常、循環障害、自己免疫疾患、腫瘍について学ぶ。	2前	30	1	○			○			○
○		微生物学	微生物（細菌やウイルス）の性質から培養、滅菌消毒法について学ぶ。	1前	30	1	○			○			○
○		血液学	血液（赤血球、白血球など）の成分機能について理解する。	1前	30	1	○			○			○
○		免疫学	免疫システムにおける抗原および抗体の性質。補体の性質及び働き、抗原抗体反応について学ぶ。	2前	30	1	○			○			○
○		薬理学	薬理学の概念から薬物の効く場所、主作用や副作用を学ぶ。	2後	30	1	○			○			○
○		医学概論	医療の歴史から医療保険制度、患者の権利とターミナルケアについて学ぶ。	1前	15	1	○			○			○
○		関係法規	臨床検査技師として必要な法律関連の比志気を学習し修得する。	1前	15	1	○			○			○
○		公衆衛生学	環境衛生・公害・地球環境問題・感染症の発症とその予防・生活習慣病の原因とその予防・医療問題について学ぶ。	3前	30	1	○			○			○
○		保健医療福祉総論	患者中心の医療専門職の視点を学習する。また患者や他のコメディカルへのコミュニケーション技法を学習する。	3前	30	1	○	△		○	○		○
○		医用工学	医療機器・システムに関する基礎知識と安全管理・保守について学ぶ。	1後 2通	90	3	○	△		○			○
○		情報科学	進数演算からコンピュータや周辺機器の働き。インターネットや電子メール、セキュリティについて学ぶ。	3後	45	1	○	△		○			○
○		臨床医学総論	循環器疾患や呼吸器疾患など様々な疾患の成員と病態生理、症状、身体所見、検査所見などを学ぶ。	2前 3前	60	2	○			○			○

○		臨床病理学 総論	感染症や悪性腫瘍など様々な疾患の検査法 や治療法を学ぶ。	2後	30	1	○			○		○		
○		臨床病理学 各論	血液・循環器・呼吸器疾患の細胞診を中心 に学ぶ。	2後 3前	60	2	○		△	○				○
○		検査データ 解析	臨床検査のデータから精密度正確度を検討 する。またその原因・対策を考える。	3後	30	1	○	△		○				○
○		病理検査学	多種類の傷害因子に対する基礎的病変を学 ぶ。顕微鏡標本の作製や細胞学的診断法に 必要な手段、包埋、染色法など実習を通し て習得する。	2通	195	5	○		△	○				○
○		血液検査学Ⅰ	採血法の習得及び各種血液疾患（貧血な ど）を学ぶ。その他標本の作製など様々な 実習を行う。	1通 2通	165	4	○		△	○				○
○		医動物検査学	吸虫類や条虫類について学び、各寄生虫や 原虫の観察スケッチなどを行う。	1後	30	1	○		△	○				○
○		化学検査学	酵素やホルモンの働きを理解する。電解質 検査や胆膵臓検査、腎機能検査、内分泌機 能検査について学ぶ。	1後 2前	150	4	○		△	○			○	○
○		放射性同位元 素検査学	放射性同位元素の医学的利用（医薬品・検 査装置・検査方法など）について学ぶ	3前	15	1	○			○				○
○		血液検査学Ⅱ	血小板、凝固因子、線溶の一連の流れを理 解し疾患につなげる。	1後 2後	75	2	○		△	○			○	○
○		基礎臨床検査学	臨床検査を学ぶための基礎として、人体の つくりと働きを学ぶ。また実習に必要な器 具の取り扱い、溶液の濃度計算ができるよ うになる。	1通	60	2	○		△	○				○
○		遺伝子分析検 査学	ウイルスの遺伝子検査や遺伝子分析検査に よる染色体異常や遺伝子異常の原理につい て学ぶ。	2通	75	2	○		△	○				○
○		微生物学 検査学	細菌学各論、真菌学及びウイルス学につい て学び、発症様式と治療、予防、検査法に ついて学ぶ。	1後 2通	150	4	○		△	○			○	○
○		免疫検査学	基本的な生体防御機構を学び、実習を通し て抗原抗体反応などの生体の免疫反応に関 係した検査及びその手法を理解する。	2通 3前	105	3	○		△	○			○	○
○		輸血・移植検 査学	生体の免疫反応による疾患の機序を理解す る。またそれらの疾患を診断するうえで必 要となる各機能検査について学ぶ。	2後	75	2	○		△	○			○	○

○		遺伝子染色体検査学	染色体と遺伝子の構造やDNA, RNAの複製転写蛋白合成について学ぶ。また各種遺伝子検査法について学ぶ。	1後	30	1	○		○									
○		生理機能検査学Ⅰ	生体信号（心電図、筋電図、脳波など）の発生原理と測定方法。その他超音波やMRIの性質と動作原理・測定方法について学ぶ。	1後 2通 3前	225	6	○		△	○			○	○				
○		生理機能検査学Ⅱ	各臓器が生命維持のために必要な一定機能を把握するための判断に関わる検査法について学ぶ。	2後	30	1	○		△	○			○					
○		画像検査学	超音波画像診断装置、MRIを心電図や脳波などの各方面から総合的に理解する。	3後	60	2	○	△		○			○					
○		検査管理運営総論	病院における検査室の役割、業務におけるの検体・試薬等の管理法を学ぶ。	3前	15	1	○	△		○			○					
○		精度管理学	検査データが信頼性のあるものかを判断し、誤差がある場合にはその原因や対策が立てられるよう精密度や正確度等を学ぶ。	3後	30	1	○	△		○			○					
○		一般検査学	臨床検査学の教科の中で基礎となる分野であり、血液以外の検査材料（尿や便、髄液など）の性状・検査法・臨床的意義について学ぶ。	1後 2通 3前	135	4	○		△	○			○	○				
○		検査機器総論	顕微鏡、天秤、恒温装置などの機器について原理や使用目的、取扱いについて学ぶ。	1前	30	1	○		△	○			○					
○		医療安全管理学	医療現場における感染予防の基本である標準予防策や感染経路別予防策、院内感染対策の組織や病院環境整備などについて学ぶ。	3後	30	1	○	△		○			○	○				
○		臨地実習	学校で学んだ臨床技術が実際の業務としてどのように行われているか。また患者接遇や臨床検査室の業務、医療チームの一員としての倫理観も養う。	3前	360	8				○			○				○	○
○		特論	国家試験科目について総合的な知識の獲得をする。	3後	225	5	○	△		○			○					
○		特論演習	国家試験に向けての模擬試験や各教科の演習をする。	3後	90	2				○			○				○	
合計					51 科目				3525単位時間(114単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
卒業要件：履修すべき全単位を修得し、各科目の総合成績が合格点に達しているもの。 履修方法：各授業科目の出席時間数が授業時間数の3分の2以上あり、学科試験において60点以上を取得する。	1学年の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。